平成 15 年度環境科学センター研究推進委員会課題評価結果

1　特定研究

「化学物質の地域リスク評価手法に関する研究」(継続課題)

[総合評価とコメント]

○　大変重要なテーマで、センターの多くの部の方々が協力して取り組まれている点が良いと思います。

　報告書として学会誌などへ投稿するのは、あとあと研究費を応募するような場合、センターの実績として評価の対象にもなると思われるためです。

○　非常に重要な課題への取り組みと考えます。

　ただ、対象としている物質が、全体のリスクと比較してどの程度の寄与があるかについても示されると、もっと良いのではと思います。

○　重要なテーマであり、研究計画及び結果の見通しも十分である。

　新しいテーマでもあるため、研究成果は積極的に研究論文とするとともに、全体の成果をまとめ(報告書などの形式)て欲しい。

○　県の環境科学センターとして有益な研究である。

　データのビジュアル化も行われており、県民への情報公開にも役立つ。

　継続して十分な研究を進めて下さい。

○　行政の意見も取り入れて進めた方がいい。多人数でやることの意義を積極的に出すようにして欲しい(分担にとどめず)。

　リスク評価については、各種モデルの結果の整合性に注意して欲しい。

○　環境行政の基本となるインベントリーデータを有害化学物質に着目して検討する意義は大きいと言える。ＶＯＣをＳＰＭおよび光化学オゾン対策として規制する動きがあり、そうした観点からの取りまとめも視野に入れておく必要もある。

　河川評価についての計画は、実施の進行と共に内容のより詳細な詰めが計られることを期待する。

(数値的評価)　　★評価者 6 名

＜評価の内容＞	＜評価項目＞	＜ランク＞
計画の立案と実施法	○研究内容	1 (6 人)　2 (0 人)　3(0 人)　4(0 人)　5 (0 人)
	○計画の妥当性	1 (5 人)　2 (1 人)　3(0 人)　4(0 人)　5 (0 人)

凡例　1:よい　2:概ねよい　3:　問題点あり　4:　全面的見直し必要　5:　わからない